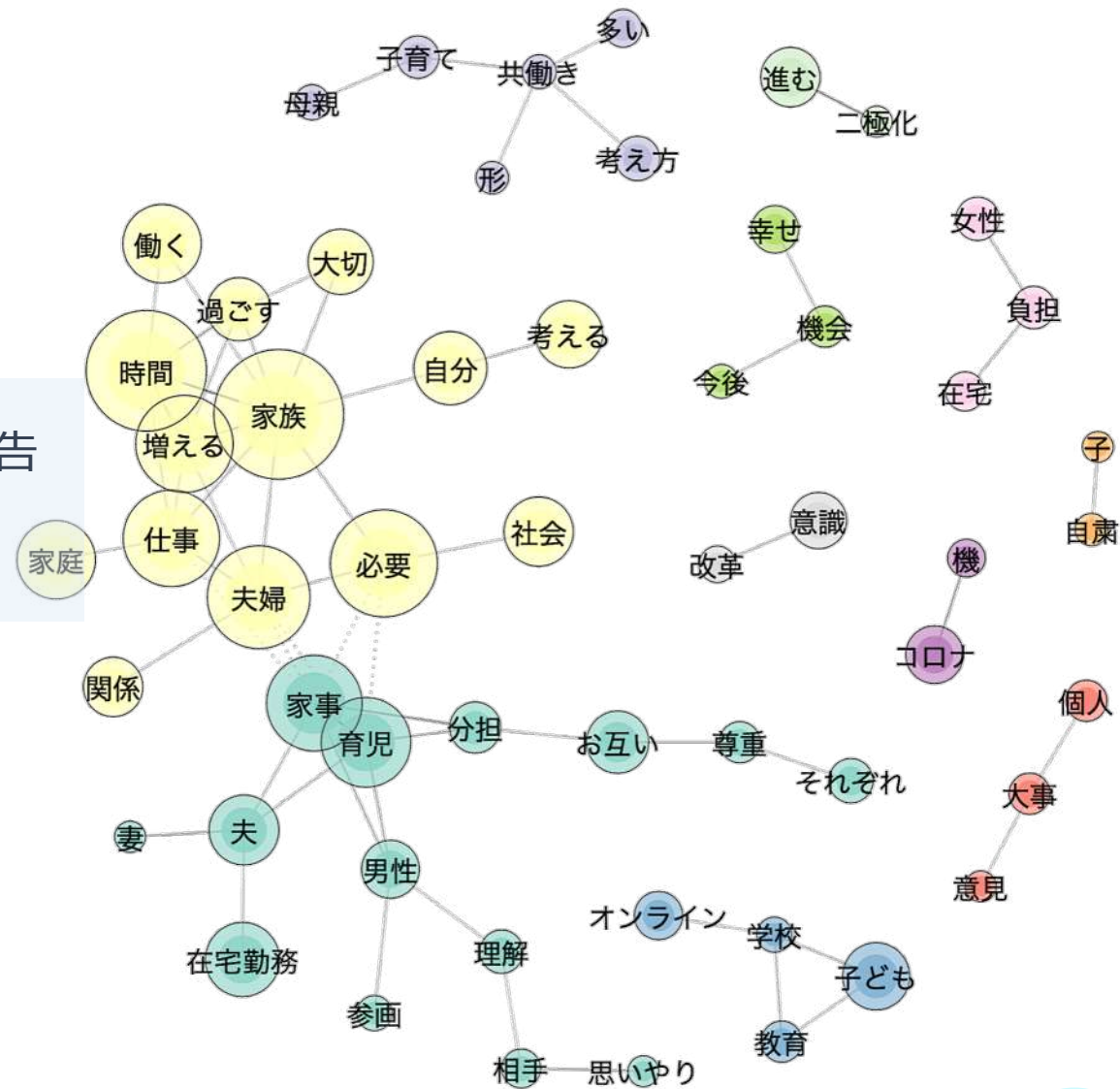




「コロナ状況下の子育て夫婦の変化に関するアンケート」報告

—わが家の新しい両立様式を考えよう—



これからも家族も仕事も大事にしたい！を叶えるために

今こそ「わが家の新しい両立様式」を考えよう

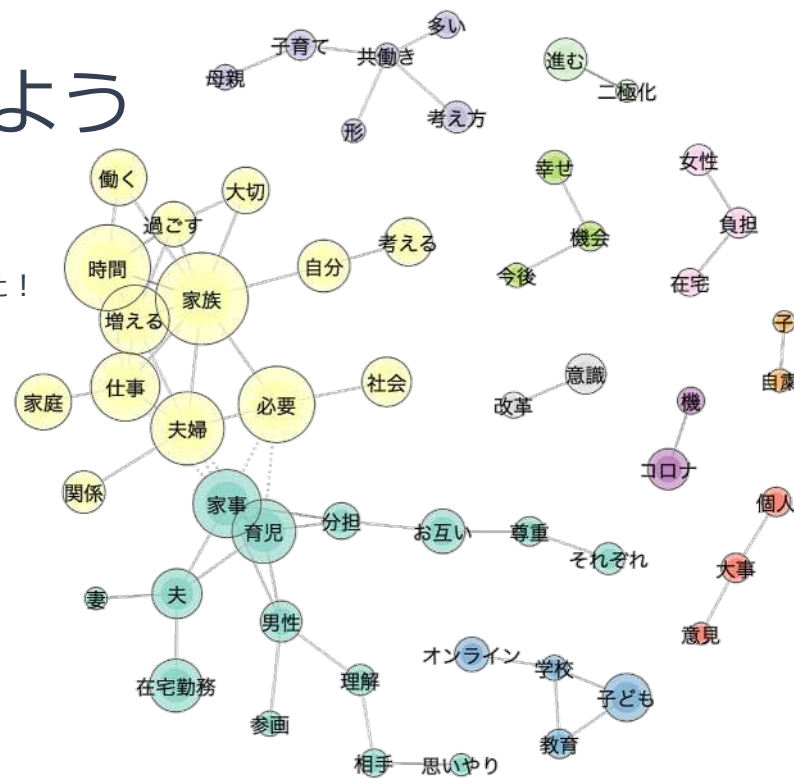
- これからも家族も仕事も大事にしていきたい！でも、具体的な話し合いはまだ！
- なりゆきで僅かに「平等より」になった家事育児分担は、なりゆきで元に戻る可能性大！
- 休園・休校対応&在宅勤務、コロナ対応で家庭内業務連絡のみ！話し合う時間的&精神的余裕が皆無だった！
- どうなる私たち？：変わるのか？戻るのか？二極化がすすむ？

緩やかに日常に戻りながら「わが家の新しい両立様式」を考えよう！

- 家族としての過ごし方（大事にしたいこと、優先したいこと）
- 個人としての過ごし方（今後の働き方やキャリア、生き方、希望）

この二つについて、「これからの夫婦・家族」のイメージを参考に

1. それぞれが「変えること」「変えないこと」を整理
2. 家族と共有！雑談レベルでもOK! お互いを尊重して対話



「コロナ状況下の子育て夫婦の変化に関するアンケート」結果より

変化したこと&
変化しなかったこと

- 夫婦間の家事育児分担：僅かに平等方向に変化
- 夫婦共に完全在宅: 36% 「妻のみ在宅」は「夫のみ在宅」の3倍
- 夫婦の会話時間：6割が増加 コロナ下の子ども&家族の対応に関する話がほとんど家事育児分担の話し合い、お互いの今後の働き方についての話は3割のみ
- 家族と過ごす時間と行動&子どもと関わる時間が増加
- 夫婦関係：7割が変化なし「いい/悪くない関係」を継続 悪化は1割

緊急事態宣言解除後の希望

家族として過ごす時間・仕事も家族も大切に・個人の時間の確保

- 6割：「家族や子どもと過ごす時間を大切にしていきたい」
- 4割：「仕事も家族も大事に」「家族と食事を一緒に」「一人の時間」「自己研鑽」

「これからの夫婦・家族」のイメージ (自由記述で語られたキーワード)



はじめに

タイトルスライドの図は、アンケートの自由記述 20,000語から作成した「これからの夫婦・家族のイメージ」です。この数ヶ月の間に私も含め日本中の子育て世代が経験したこと、今考えていること、そして今後への思いが感じられます。

新型コロナウイルスにより、4月7日に7都府県に発令された緊急事態宣言は、4月16日には全国に拡大。外出自粛に伴い、多くの子育て世代が育児をしながら在宅で働き、共に長い時間を過ごすことになりました。

生活そのものが一変した中、私たち子育て夫婦は変化したのか、それとも変化していないのか。変化したとしたらどのように変化したのか、今後どうなりたいと思っているのか。

緊急事態宣言下での子育て夫婦の経験やこれからへの思いを把握することで、宣言解除後の「自分たちのありたい姿」をそれぞれが考える機会になればと思い、本アンケートを行いました。

回答はSNSの拡散のみで集めましたが、多くの皆様のご協力のおかげで、沢山の方々にご回答いただきました。心より感謝申し上げます。

アンケートの回答数としては少ないですが、半数以上の方が自由記述欄に沢山のコメントを書いてくださいました。ご回答いただいた多くの方から「振り返りになった」とメッセージをいただきました。

緊急事態宣言が解除された今日、日本中の家族へのエールの気持ちを込めて、アンケート結果をご報告すると共に、結果に基づいたご提案をお伝えします。皆様のこれからの考えるご参考にさせていただけると幸いです。

ワンダライフLLP代表 林田香織
2020年5月25日 緊急事態宣言解除



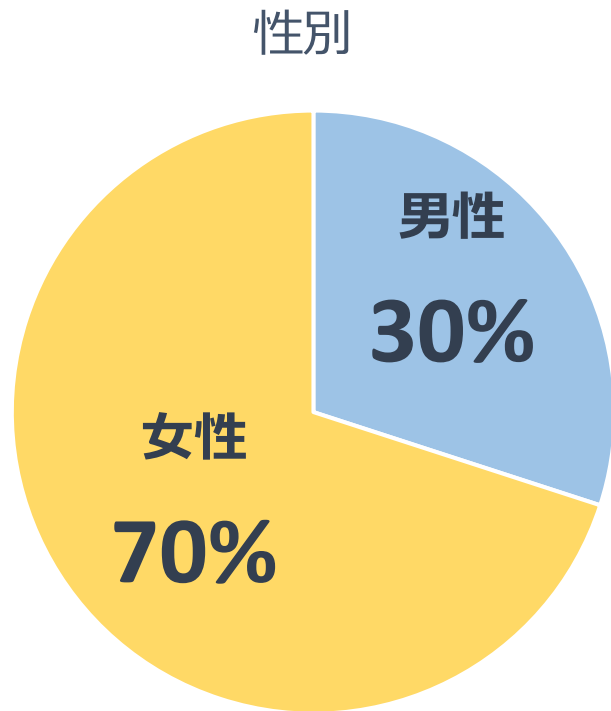
調査概要

「コロナ状況下の子育て夫婦の変化に関するアンケート」

調査方法	Google Formによる WEB調査 (Facebook, Twitter, HP,による拡散共有)
実施機関	ワンダライフ LLP
実施期間	2020年5月6日ー2020年5月16日
調査対象者	子ども(長子が高校生以下)がいる (または妊娠中の) 夫婦 夫婦でも夫のみ妻のみでも回答可
調査エリア	全国
有効回答数	573 (男性 171、女性 402)
分析方法	Rによる定量的分析 KH coderによる自由記述欄のテキスト分析

回答者属性

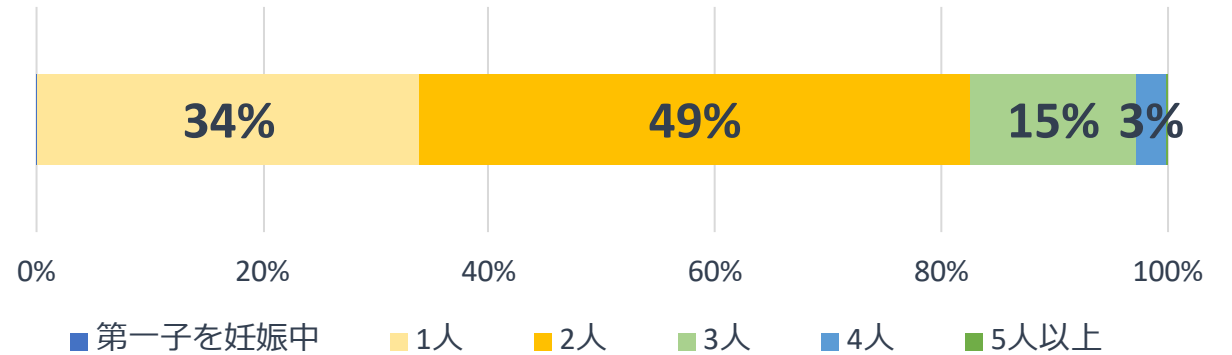
性別・子ども



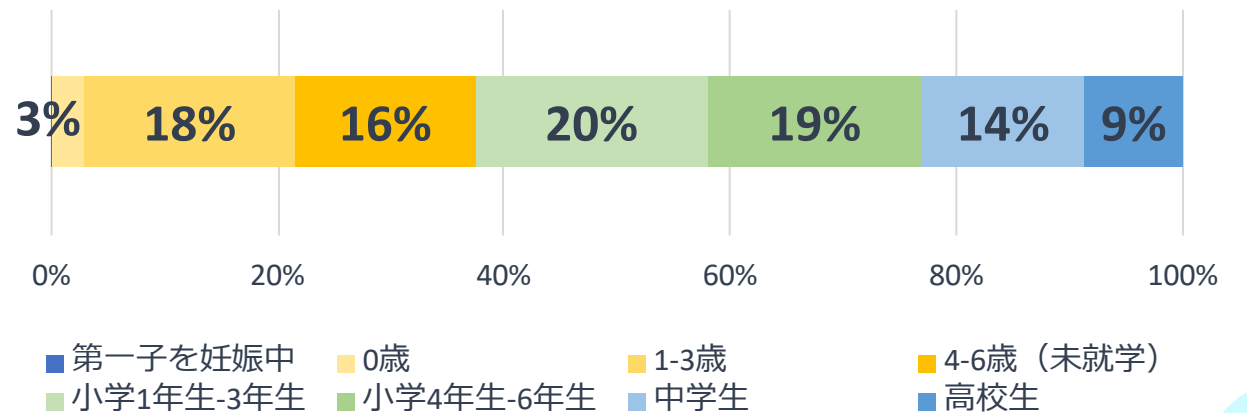
半数が子ども二人

長子が未就学または小学生が **4割** ずつ

子どもの人数



長子の年齢



Q1 性別、Q2 子どもの人数、Q3 長子の年齢をもとに作成

回答者属性

就業状況

共働き: **84.6%**

夫婦共にフルタイム: **31.8%**

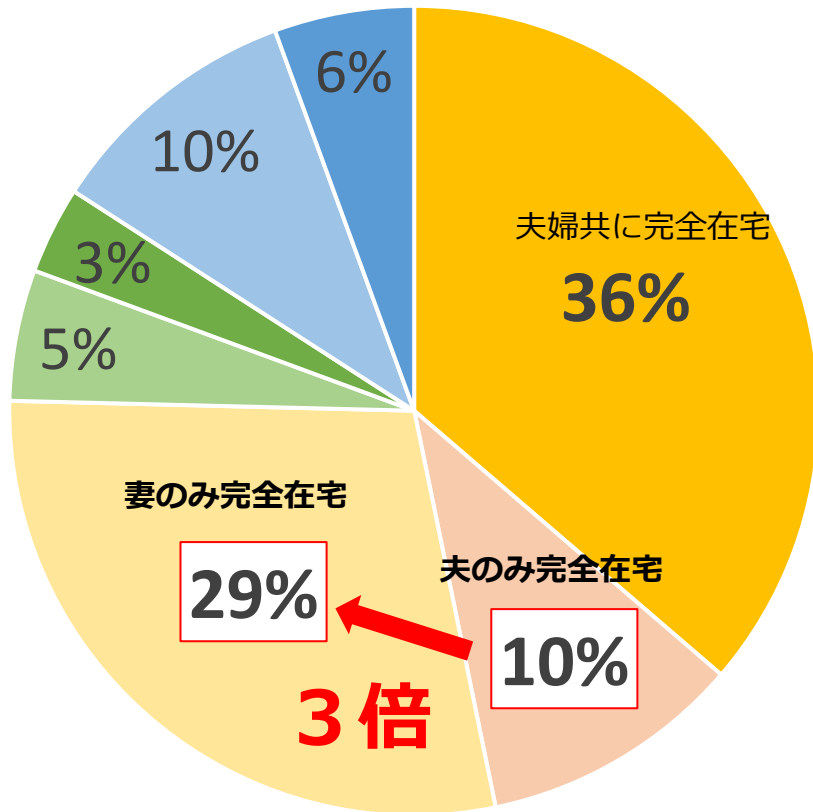
妻 夫	会社員/公務員 (フルタイム)	会社員/公務員 (時短勤務)	契約社員	派遣社員	パートタイム・ アルバイト	専門職・士業	会社役員	自営業	フリーランス・ 自由業	専業主婦	無職	その他
会社員/公務員 (フルタイム)	31.8%	10.8%	2.4%	1.2%	10.5%	1.6%	0.5%	2.8%	5.6%	9.1%	1.2%	1.7%
会社員/公務員 (時短勤務)	1.4%	0.2%										
契約社員	0.3%							0.2%				
派遣社員				0.2%	0.2%				0.2%			
パートタイム・ アルバイト	0.5%				0.2%							
専門職・士業	0.3%	0.2%			0.0%	1.0%				0.3%		
会社役員	0.7%				0.5%		0.2%	0.2%	0.5%	0.5%	0.2%	
自営業	1.6%	0.7%	0.3%	0.3%	1.4%		0.2%	1.6%	1.0%	0.5%		0.3%
フリーランス・ 自由業	1.9%	0.2%	0.2%		0.2%			0.3%	0.5%	0.2%		
専業主婦	0.3%	0.2%										
無職	0.2%										0.2%	
その他	0.2%									0.2%		

Q4 あなたと配偶者の雇用形態について教えてください。



夫婦の在宅状況

緊急事態宣言下での夫婦の在宅状況



「妻のみ在宅」は「夫のみ在宅」の**3倍**

夫婦共に完全在宅：**36%**

妻完全在宅：**65%** (36%+29%)

夫完全在宅：**46%** (36%+10%)

「Q1 性別」と「Q5在宅状況」は有意な相関あり (p<0.001)

- 夫婦共に完全または、ほぼ在宅（または在宅勤務）
- 夫のみ完全または、ほぼ在宅（または在宅勤務）
- 妻のみ完全または、ほぼ在宅（または在宅勤務）
- 夫婦交代で在宅（夫婦が別の日に在宅または在宅勤務）
- 夫婦共に数日のみ在宅（夫婦で同じ日に在宅または在宅勤務）
- 夫婦のどちらも在宅ではない（職場にいる方が圧倒的に多い）
- 上記以外

Q5 あなたと配偶者の現在の在宅状況について一番近いもの一つを選んでください。



家事育児分担の変化

家事育児共、僅かに「平等」方向に変化

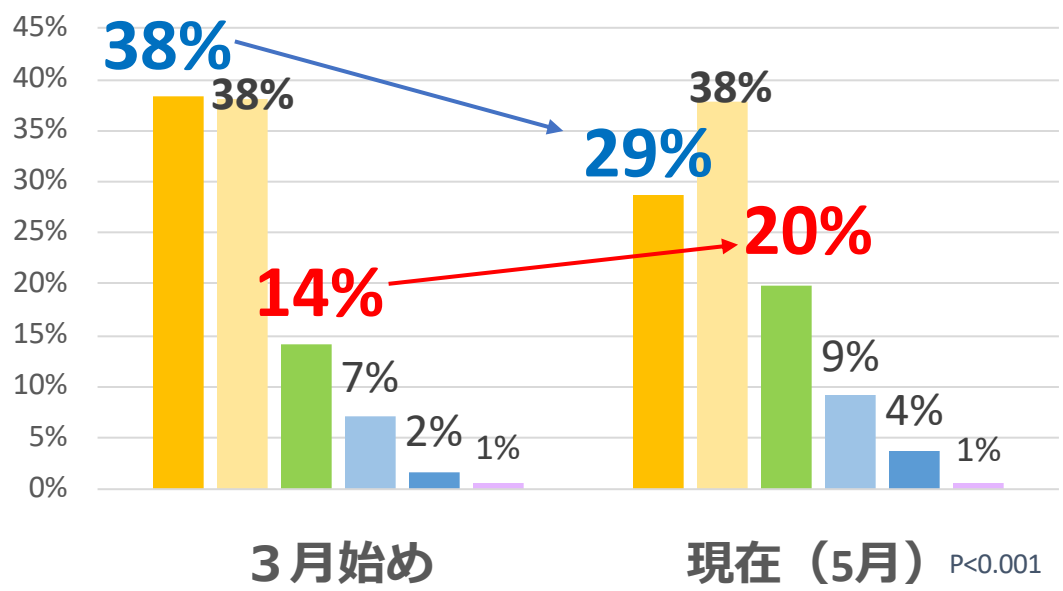
「ほぼ全て妻」 **減 9pt** ↘

「夫婦ほぼで同じ」 **増加 6-7pt** ↗

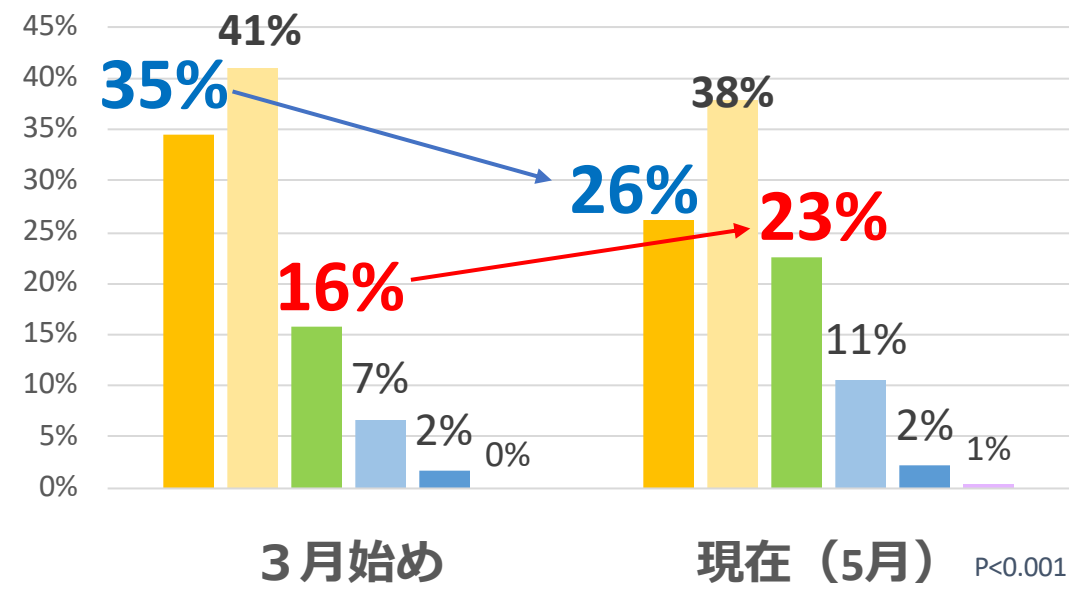
「どちらかといえば妻」：変化なし →

「Q1 性別」は「Q6 3月始め」「Q7 現在」の家事育児分担状況と弱い相関あり (p<0.001)
 「Q5 在宅状況」は、「Q7 現在」とのみ弱い相関あり (夫が在宅すると妻の負担が減る) (p<0.001)

家事分担の変化



育児分担の変化



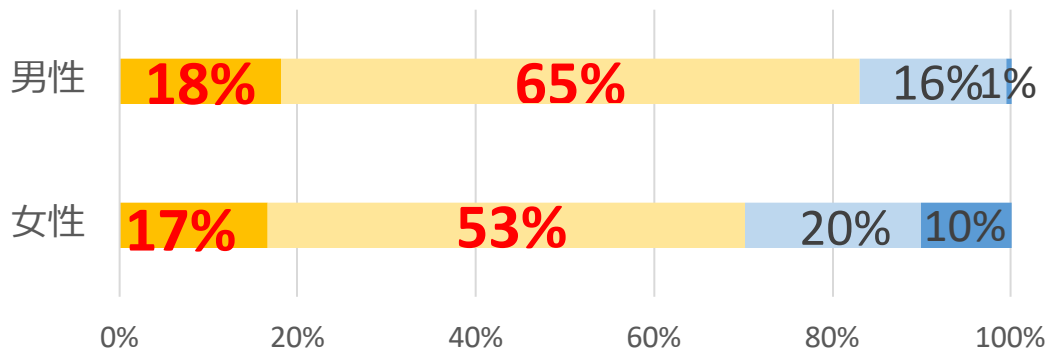
- ほぼ全て妻
- どちらかといえば妻
- 夫婦でほぼ同じ
- どちらかといえば夫
- ほぼ全て夫
- ほぼ親族

Q6 3月始め時点の家事育児分担状況で最も近いものを家事と育児それぞれについて選んでください。
 Q7 現時点の家事育児分担状況で最も近いものを家事と育児それぞれについて選んでください。

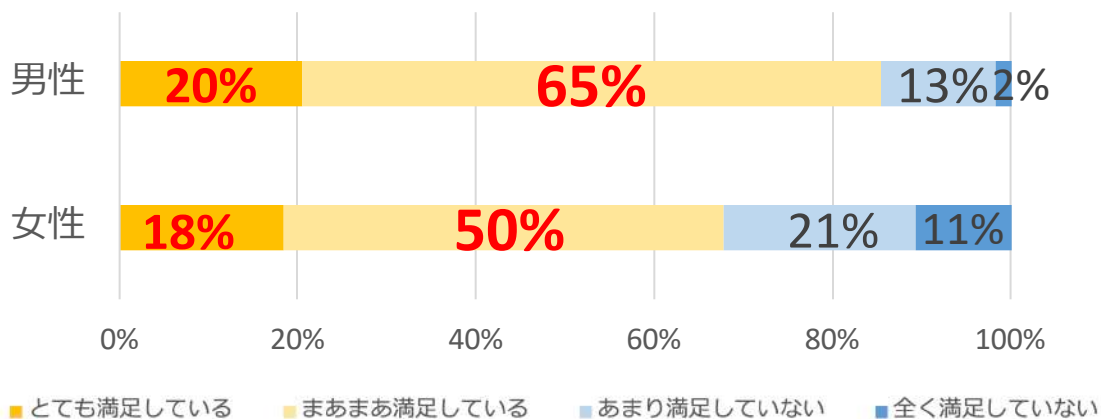


現在の家事育児分担満足度

家事分担満足度



育児分担満足度



Q9 現在の家事分担割合についてどのように思いますか？

家事育児共に

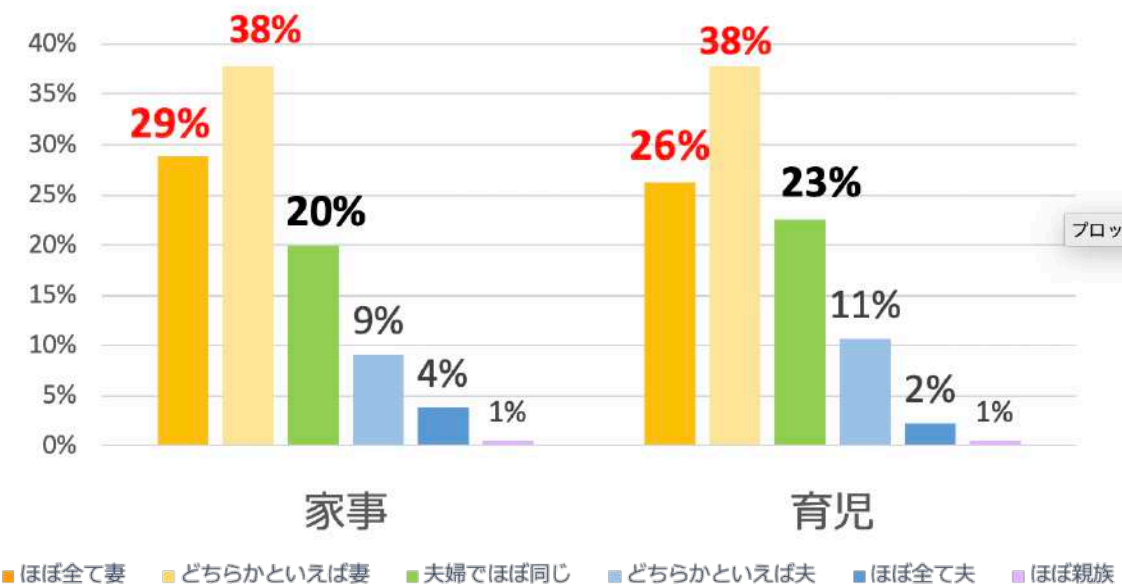
「とても満足」「まあまあ満足」

男性：8割以上 女性：7割

ただし、現時点でも6割以上は妻が負担

「Q7 現在の家事育児分担状況」と「Q9 分担満足度」では、夫・妻共に有意な相関あり（妻の負担が減ると妻の満足度が上がる）、特に、妻に弱い相関あり (p<0.001)

現在の家事育児分担状況



Q7 現時点の家事育児分担状況で最も近いものを家事と育児それぞれについて選んでください。

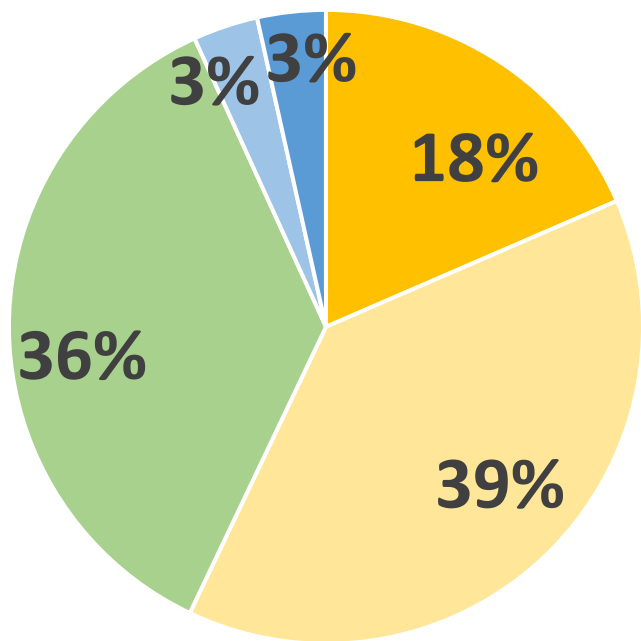


会話・話し合い

6割：会話時間が**増加** しかし、
半数以上が家事育児分担について話し合っていない

「Q7 現在の家事育児分担」と「Q8 家事育児の話し合い」では、
夫・妻ともに弱い相関あり（話し合うと妻の負担が減る）（ $p < 0.001$ ）

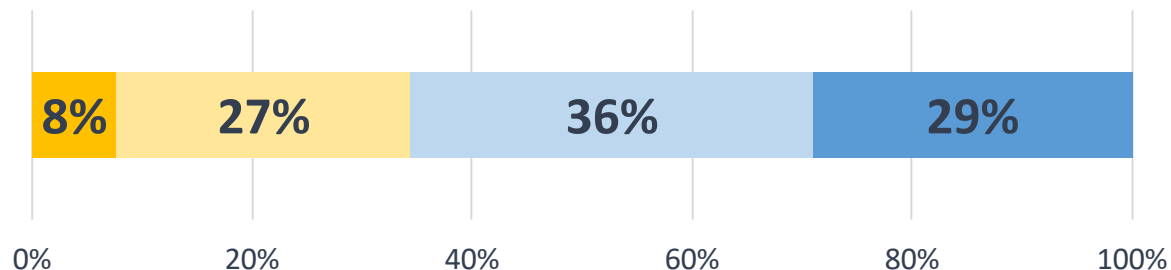
会話時間



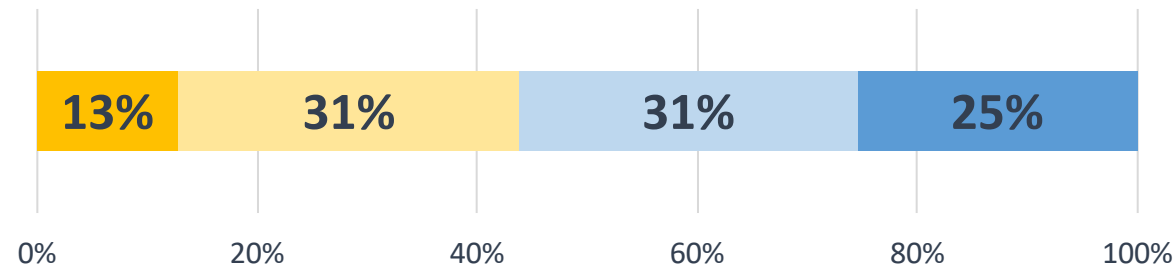
■ 非常に増えた ■ 少し増えた ■ 変わらない ■ 少し減った ■ 非常に減った

Q10 3月始め時点と現時点で夫婦の会話時間はどのように変化しましたか？

家事分担に関して



育児分担に関して



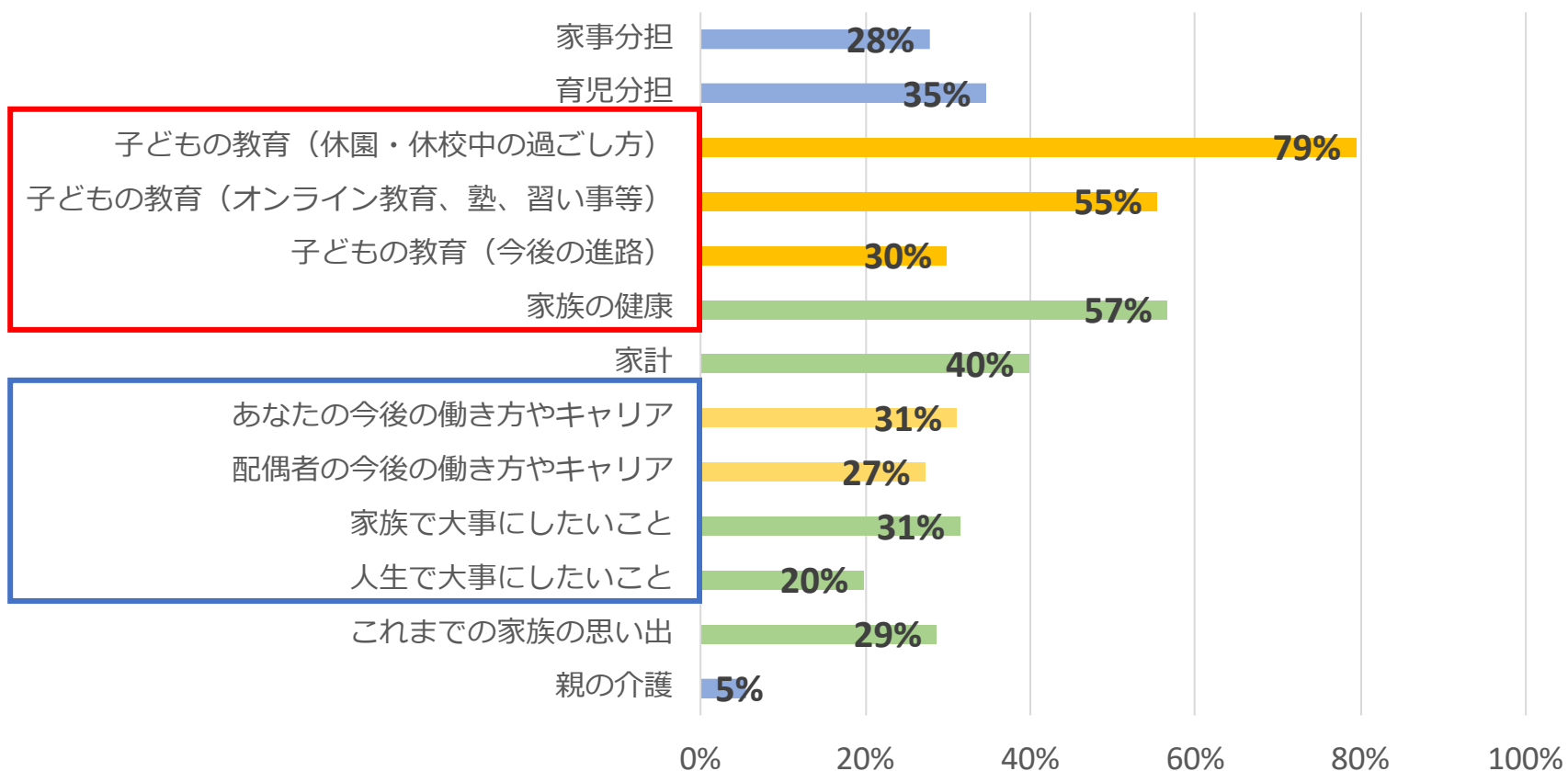
■ よく話し合った ■ 少し話し合った
■ ほとんど話し合っていない ■ 全く話し合っていない

Q8 3月始め以降現在までの間に家事/育児分担について話し合いましたか？



夫婦で話した話題

緊急事態宣言下の対応に関することがほとんど
8割：「休園・休校中の子どもの過ごし方・学習」
6割：「家族の健康」
3割：「働き方やキャリア」「大事にしたいこと」



Q12 3月始め以降現在までの間で夫婦で話した話題について当てはまる項目を全て選んでください。（複数回答）



夫婦関係満足度の変化

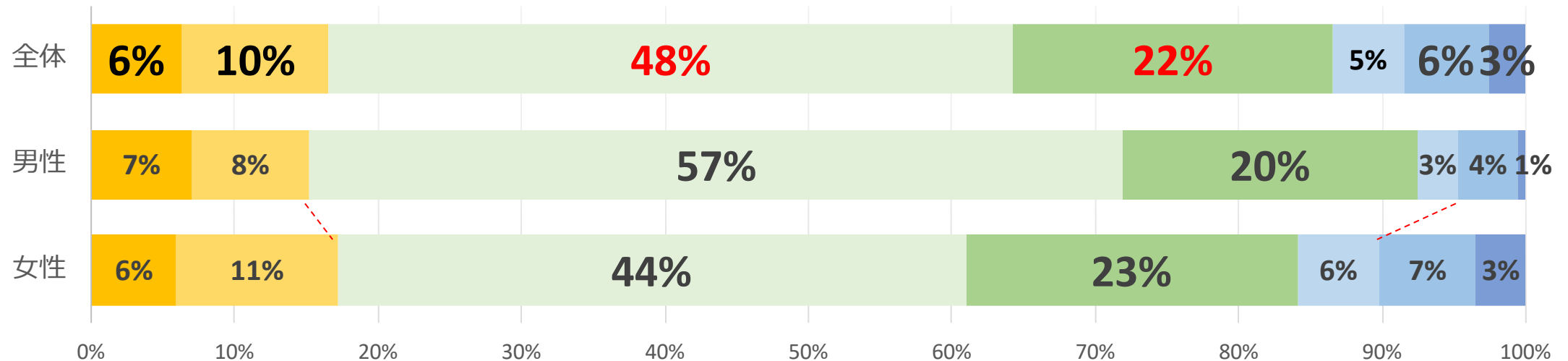
変化は少なく「いい/悪くない関係」

7割：「変化なし」

8割以上：夫婦関係は「いい」「悪くはない」

「よくなった」2割弱（女性>男性）

「悪くなった」1割程度（女性>男性）



- 非常によくなった
- 変化はないが、いい関係が続いている
- 変化はなく、あまりよくない状況が続いている
- 非常に悪くなった

- 少しよくなった
- 変化もなく、夫婦関係もよくも悪くもない
- 少し悪くなった

Q11 3月始め時点と現時点で夫婦関係はどのように変化しましたか？



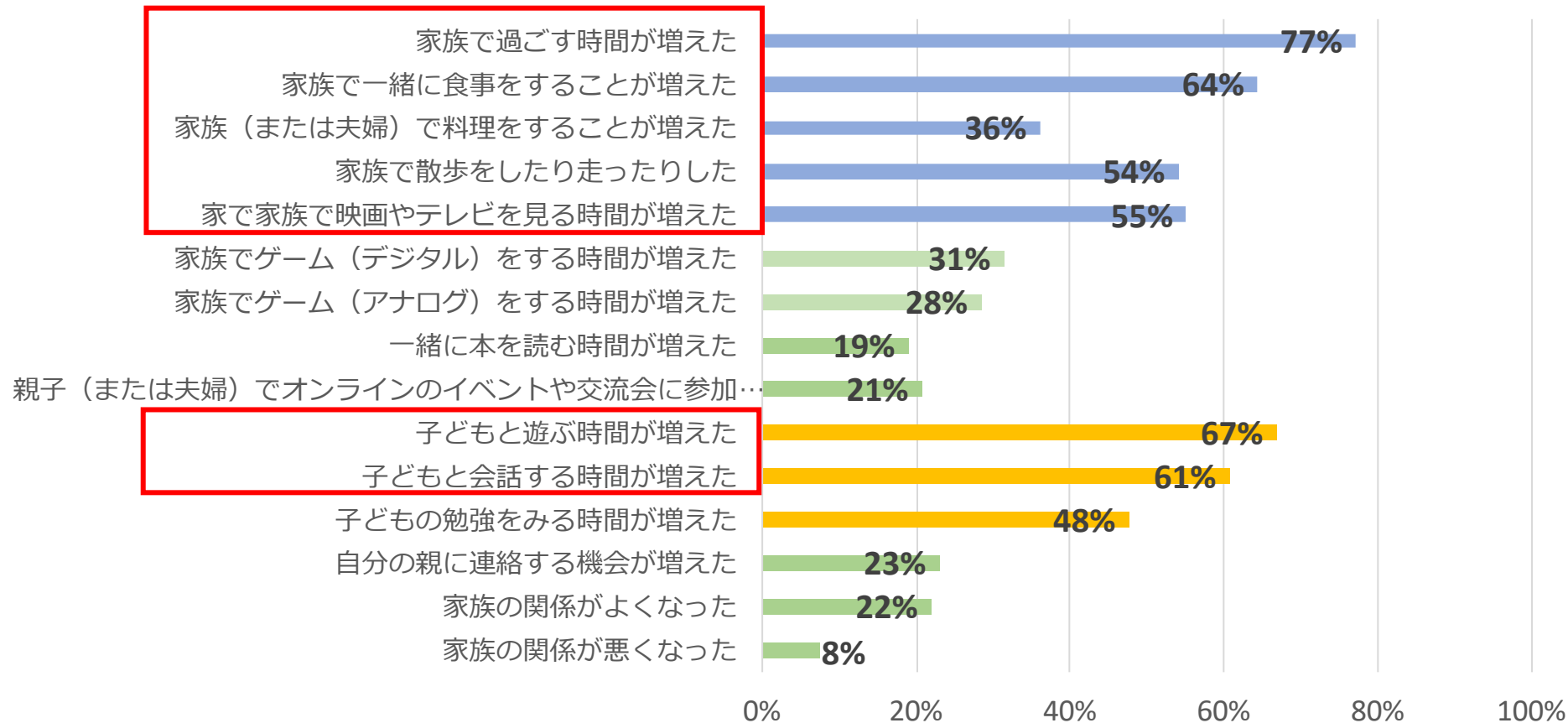
家庭での変化

家族&子どもとの時間と行動が増加

7割：「家族や子どもと過ごす時間」 ↗

5-6割：「家族で食事」「散歩」「映画やテレビ」 ↗

6割：「子どもと遊ぶ/話す時間」 ↗

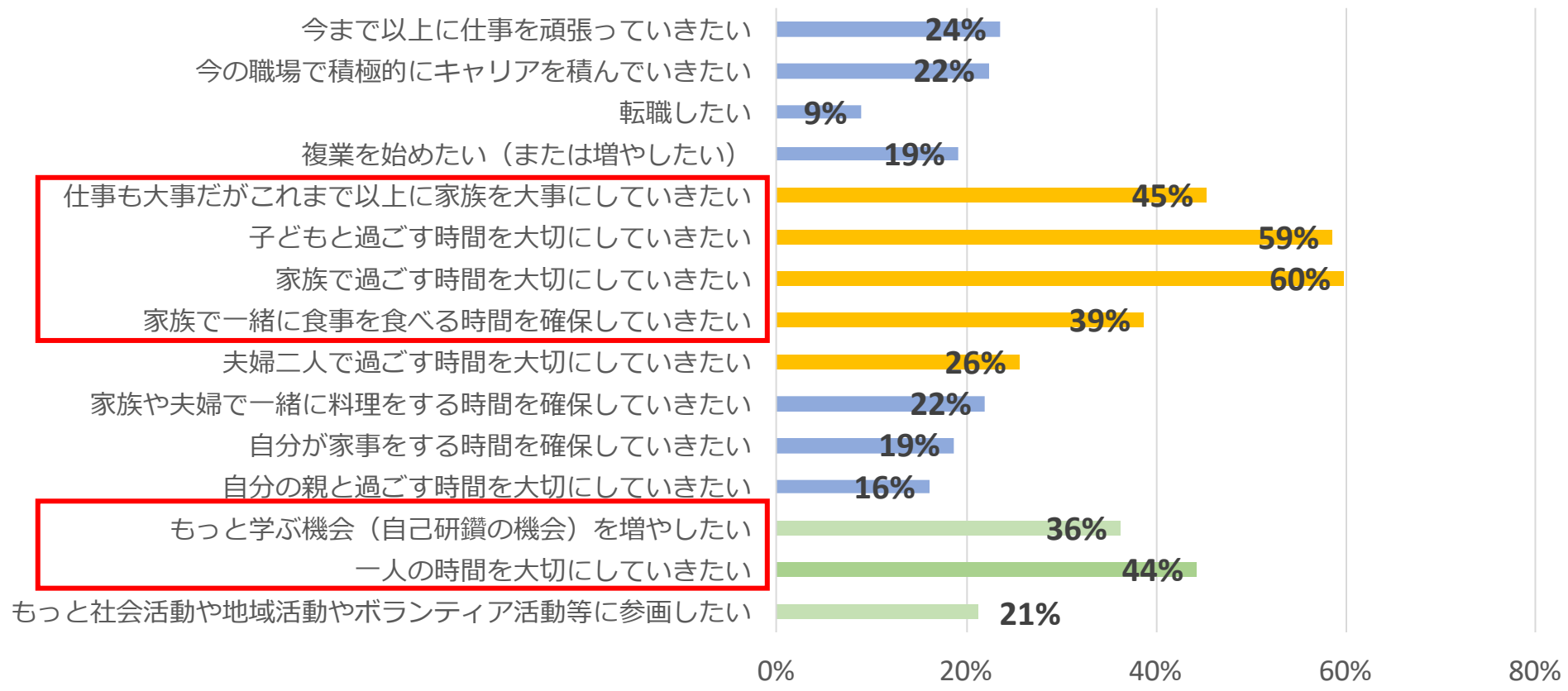


Q13 3月始め以降、家庭の中でどのような変化がありましたか？（複数回答）



宣言解除後の希望

家族として過ごす時間や**個人の時間**の確保
6割：「家族や子どもと過ごす時間を大切に」
4割：「仕事も家族も」「食事を一緒に」
「一人の時間」「自己研鑽」



Q14 緊急事態宣言解除後のあなた自身の希望についてあてはまる項目を全て選んでください。（複数回答）

自由記述の分析

自由記述：
コロナを機に日本の夫婦または家族が変わっていくとしたら、
どのように変わっていくと思いますか？変わるために何が必要だと思いますか？

	回答人数	文数	異なり語数	総抽出語数
全コメント	295(51%)	908	2,295	19,805
男性コメント	82 (48%)	217	869	4,137
女性コメント	213(53%)	691	2,025	15,822

※全コメント、男性コメント、女性コメントは別ファイルで分析しており、
異なり語数と総抽出語数は一致しない。

KH coder による 共起ネットワーク分析

共起ネットワーク = 出現パターンの程度が強い語を線で結んだネットワーク

円の大きさ：語の出現数(frequency)

線の太さ：共起の程度(係数:coefficient)

色分け：強くお互いに結びついている部分を自動的に検出したグループ分け

サブグラフ(modularity)検出

分割されたグループ内の辺の数とグループ間の辺の数の比較によりグループを色分けする

媒介中心性分析

ネットワークの頂点間において他の頂点同士の中継点になる度合いの高さを分析

参考：KH coder チュートリアル <https://kncoder.net/tutorial.html>

これからの夫婦・家族

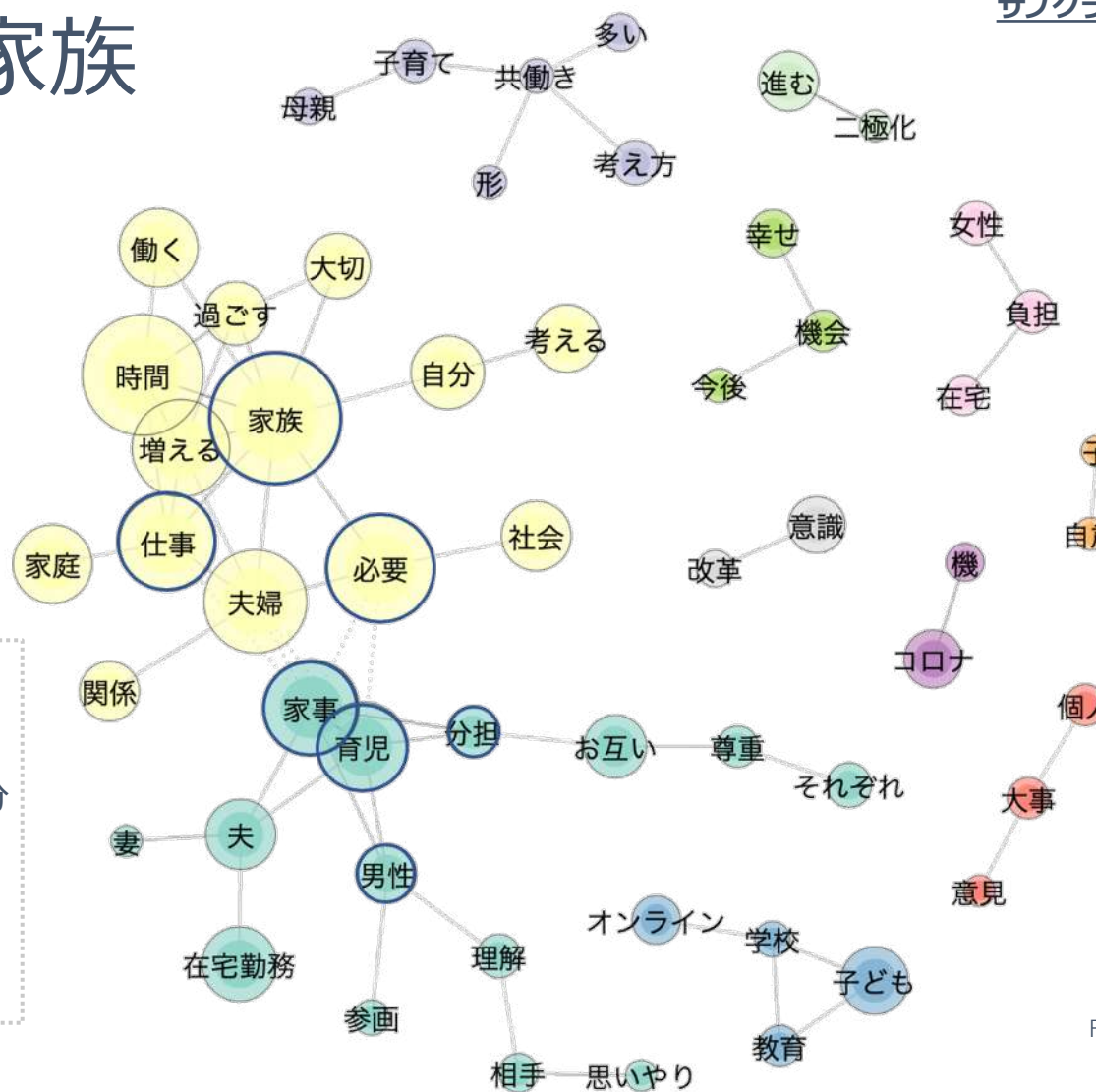
サブグラフ (グループ) 検出
modularity

Subgraph:
 01 07
 02 08
 03 09
 04 10
 05 11
 06

Coefficient:
 — 0.2
 — 0.3
 — 0.4
 — 0.5
 — 0.6
 — 0.7

Frequency:
 ○ 50
 ○ 100
 ○ 150

円の線が太い = 中心性が高い



語られたテーマ数 : 11 (色別)

主なキーワード

- 01 家事・育児、分担、男性、夫、お互い、理解、尊重
- 02 家族、仕事、必要、過ごす、時間、増える、夫婦、自分
- 03 共働き、形、多い、考え方、子育て、母親
- 04 個人 : 大事、意見
- 05 子ども : 学校、オンライン、教育

太字 = 中心性が高い

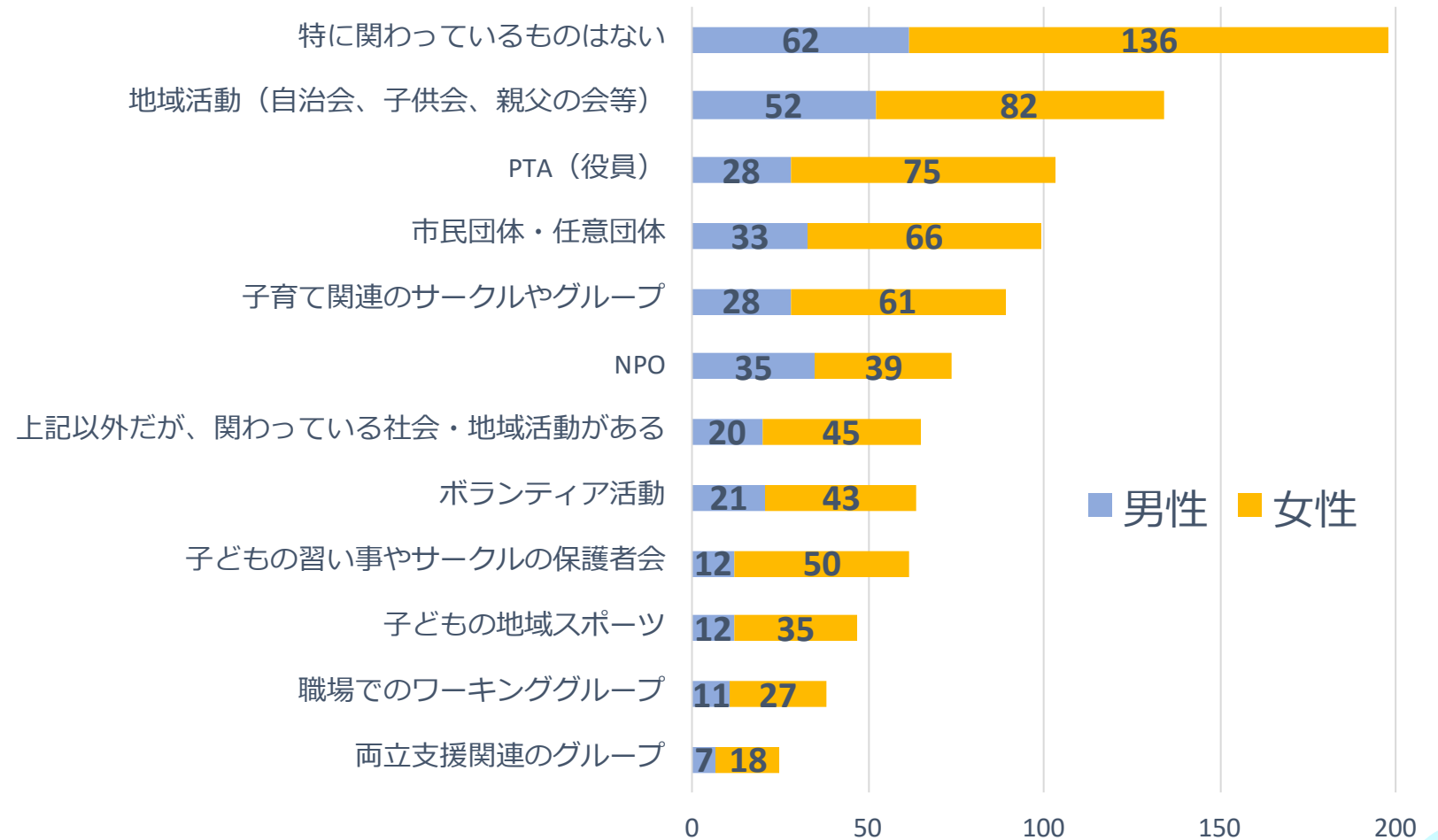
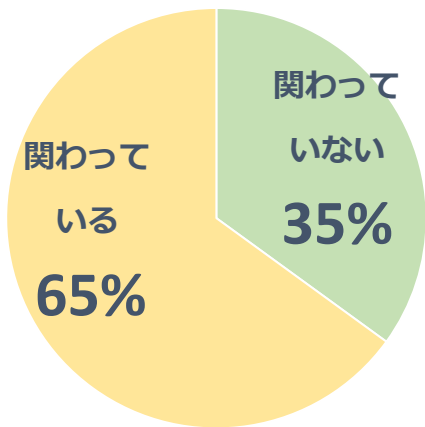
自由記述 : コロナを機に日本の夫婦または家族が変わっていくとしたら、どのように変わっていくと思いますか? 変わるために何が必要だと思いますか?

回答者属性

地域・社会活動

主体的に関わっている地域・社会活動

関わりの有無



Q15 あなた自身が主体的（積極的に）関わっている地域・社会活動を全て選んでください。（複数回答）



アンケートに関するお問い合わせは以下へお願いします。
info@wonderlf.com